

2024

市民対象のリビングラボセミナー（11/16）

- ・ 地域住民等のリビングラボ・社会実装への理解を促進し、参加意欲を喚起
- ・ （一社）リビングラボネットワークネットワークと連携

参加：29名

「健都フェス」における技術展示（11/17）

- ・ 万博出展企業等がその技術を地域住民等に披露
- ・ 健都フェス・秋フェスと同時開催

出展：6者
来場：延べ662名

（社会実装の担い手集団を形成）

リビングラボ検討会

- ・ 主な参加者：地域住民、施設運営者
- ・ 実証実験の受入れ側として、リビングラボ形成に必要な取り組みを検討

連携

分野別検討会

- ・ 主な参加者：企業・アカデミア等
- ・ 実証の実施者として、効果的な手法等を検討
- ・ 疾患領域等に応じて分野別に3つ組成

2025

社会実装の加速につながるイベント（実証事業のデモンストレーション）（8月）

- ・ 分野別検討会（企業等）が、リビングラボ検討会（住民等）を対象として、実証事業をデモ実施
- ・ 実施側、受入側それぞれの視点から意見を出し合い、実証ノウハウをブラッシュアップ
- ・ 成果報告書、報告会の公開により、ノウハウを広く共有

出展：14者
参加：延べ68名

革新的技術の体験会（実証事業）（9月）

- ・ 分野別検討会ごとに実証事業を実施、革新技術の社会実装につなげる
- ・ 地域住民等が新たな技術に触れ、自らの健康づくりに対する意識を涵養する機会に

出展：13者
参加：延べ746名

大規模展示会（9/26）

- ・ 万博出展企業や、検討会参加企業を中心に、その革新的技術を住民や他企業にPR
- ・ 商談スペースを設置し、出展者-出展者、出展者-来場者のビジネスマッチングも支援
- ・ 健都万博の集大成として、デモイベント、実証実験により得られた成果を発表

出展企業：37社
出展技術：51種
参加：743人

2026

健都万博を通じて獲得した**地域の実証ノウハウ**を、
機運の高まりを途切れさせることなく**定着させるとともに**
健都外も含む幅広いヘルスケア企業が活用できるよう支援

「社会実装」とは異なる機軸での取組
（健康・医療データ利活用の推進）

新規

大阪府ライフサイエンス産業課 令和8年度の取組（健都関係）

健都“未来社会の実験場”化による社会実装促進事業（3,000千円）

発展

【概要】

「健都万博」を通じて構築した社会実装の仕組みを地域に定着させるとともに、幅広い企業が健都の実証機能を活用できるようにするため支援する。

【実施内容】

- ・ 実証事業を希望する企業と、地域の住民団体や施設等とのマッチング
- ・ 実証に要する消耗資材等に対する補助（上限100万円）

【備考】

- ・ 既存の実証に関する取組との連携を要検討

地域団体の募集

実証事業に関心ある地域団体を募集



企業等の募集

大阪府から企業等へ情報提供



地域と企業等のマッチング

企業等から申込あれば府が仲介



実証内容の調整

地域団体と企業等が実証内容を調整



実証事業の実施

健都 健康・医療データ活用拠点化推進事業（6,000千円）

新規

【目的】

企業の研究開発における健康・医療データ(仮名加工医療情報等)の利活用を推進するため、必要な支援施策等の検討・調査をおこなう。

【実施内容】

- ・ 企業等に対する、データ利活用における課題やニーズのヒアリング調査
- ・ 関係者・有識者による意見交換、議論
- ・ 最終報告書(ロードマップ)の作製

【備考】

- ・ (一財)地方自治研究機構との共同調査事業として実施。委員会の運営事務や報告書作成などは機構が主導。



その他の取組 (抜粋)

- ・ WHX Osaka 出展 (7月)
- ・ ビジネスパートナーリングイベント (7月)
- ・ BioJapan出展(10月)
- ・ 日欧バイオテック&ファーマ パートナリングカンファレンス (10月)